

# あなた 市民が主役の まちづくり 第2章

中田市政 2期目がスタート



大勢の市職員などが出迎えるなか、笑顔で初登庁する中田市長。

## 中田裕市長が初登庁

任期満了に伴う市長選挙で2選された中田裕市長が、10月20日に爽やかな秋空のもと初登庁しました。  
市役所大和庁舎玄関前で大勢の市職員などから拍手で出迎えを受けました。女性職員から歓迎の花束を手渡された中田市長は、笑顔で応えていました。  
その後、幹部職員に対して行われた訓示では、次のように話し、2期目に向けた決意を語りました。

## 少子高齢化問題について

高齢化といつて将来に不安を持つのではなく、永年人間が悲願としてきた長寿社会の到来と考え、長生きをみんなに祝福しながら、乗り切っていかなければいけない。  
子育て支援に対しては、地域で子育てが出来るような環境の整備。長寿者が永年培ってきた知恵を利用しながら頑張っていける体制を強化していきたい。また、それらを支える現役世代のために、労働

## 市の運営にあたって

職員一人ひとりが、まちの将来像を真剣に考え、持てる能力をフル活用して実践すれば、素晴らしい桜川市を築き上げることが出来ると思っています。  
一人ひとりの能力はたかが

拍手で出迎えを受け、女性職員から歓迎の花束を手渡されました。



知れたものですが、450人の職員の力を一つにして「桜川市を良くしよう！」という強い思い・高い志を持って取り組めば、この4年間で新しい飛躍が出来ると思っています。「元氣なあいさつ・明るい笑顔」を心掛け、コミュニケーションを取りながら、本当に愛される桜川市をみんなで作っていききたい。

## 市長就任のごあいさつ



このたび、市民の皆さまのご支持を頂き、引き続き市政を担わせていただくことになりました。大変光栄に存じますとともに、市民の皆様方から寄せられた期待の大きさに、身の引き締まる思いでございます。

さて、私は桜川市が誕生してからこれまで、自分の政治信念であります「市民（あなた）が主役のまちづくり」を基本理念に、顔の見える市政、市民の声を聴く市政を推進し、和と信頼の行政を進めてきました。これからも初心を忘れることなく、地域間格差のない桜川市の発展を目指してまいりますので、市民の皆様のご支援ご協力をお願いいたします。

### これからのまちづくり

#### 市民との協働

地域の自主的な活動を支援します。日本一きれいな街を目指し、ごみ減量化やリサイクル等のエコ活動を展開するなど、市民との協働で元気なまちをつくりまします。

#### 健やかな人を育む教育・スポーツのまち

個性を認め合い、創造力豊かで、他人を思いやる心を持った人材育成教育や基礎学力の向上をはかり、健やかな人を育む教育に取り組みます。スポーツクラブやチーム等への支援体制を充実します。

#### 互いに助け合い

#### 心安らぐまち

子育て支援センターを設置し、地域ぐるみの子育て支援体制を推進するとともに、児童の健全育成と子育て支援の

#### 災害や犯罪に強い安全・安心のまち

学校等の主な公施設設計画的な耐震補強工事を推進し、児童生徒の安全を確保するなど災害や犯罪に強い安全・安心のまちをつくりまします。

#### 人にやさしい環境文化都市

市全域が「景観形成都市」の指定を受けましたので、美観形成、観光客誘致、自然環境保護などをまちづくりの基盤に据えた事業を推進します。市の伝統文化や祭り、歴史遺産の継承保護に努め、新たな観光スポットを構築し、

#### 地域産業が元氣な生き活き都市

地場産業である石材業の活性化策の支援、黒小玉すいかや熟トマト、太陽ひかり米のブランド化の支援、桜川筑西インター周辺への企業の誘致による地域の活性化と雇用の拡大をはかり、若者が定住できるまちづくりを行い、地域産業や商業・農業が元氣な生き活き都市をつくりまします。

#### 生活者の目線で市役所改革

政策評価や事務事業の見直し、人材適正化計画の実施等により財政基盤確立のための行財政改革を更に推し進め、合併協議で決定された後期新市建設計画については、議会や市民の皆様のご意見を伺い推し進め、生活者の目線で市役所改革を行います。

桜川市長

中田裕

